７．生産・出荷・在庫

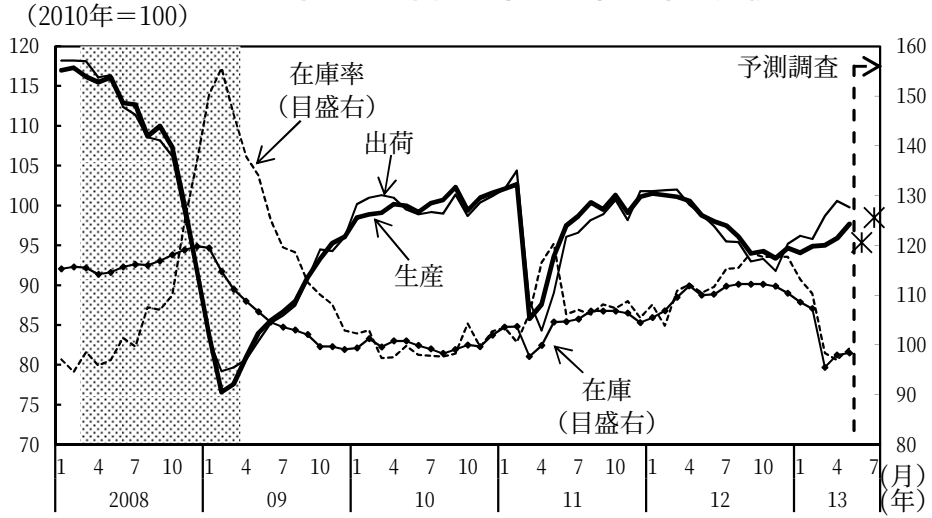
生産は、緩やかに増加している。

（前年同期（月）比、[ ]内は暦年前年比、（ ）内は季調済前期（月）比、%）

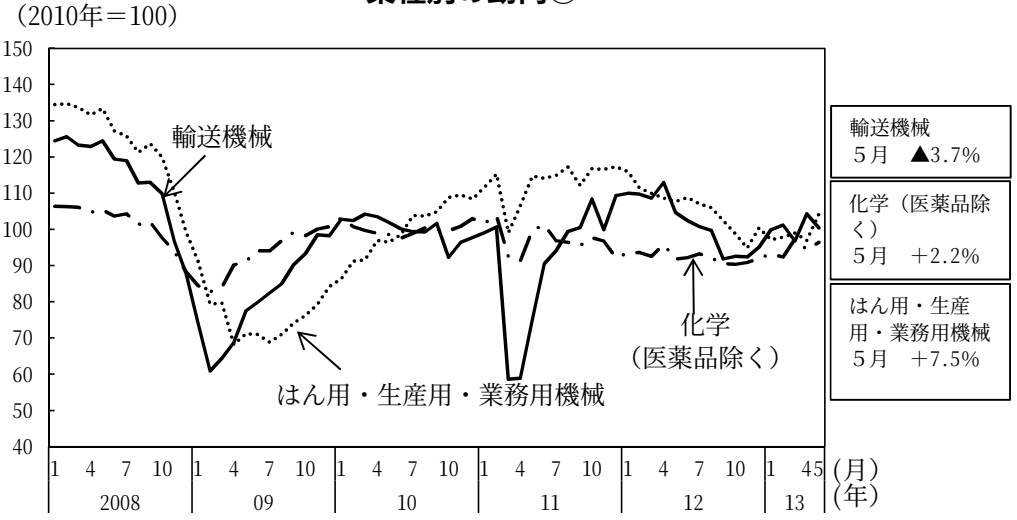
	[2011年] 2011年度	[2012年] 2012年度	2012年 ７－９月期	10－12月期	2013年 １－３月期	2013年 3月	4月	5月	予測調査
鉱工業生産	[▲2.8] ▲0.7	[0.6] ▲2.9	(▲ 3.2) ▲ 3.9	(▲ 1.9) ▲ 5.9	(0.6) ▲ 7.9	(0.1) ▲ 7.2	(0.9) ▲ 3.4	(1.9) ▲ 1.1	6月 ▲2.4 7月 3.3
鉱工業出荷	[▲3.7] ▲1.5	[1.2] ▲1.8	(▲ 4.3) ▲ 3.6	(▲ 1.3) ▲ 6.4	(4.1) ▲ 6.3	(▲ 0.8) ▲ 5.9	(▲ 1.4) ▲ 3.0	(1.0) ▲ 2.1	
鉱工業在庫	[2.0] 12.1	[5.2] ▲2.7	(1.8) 5.3	(▲ 1.6) 5.2	(▲ 3.4) ▲ 2.7	(▲ 0.7) ▲ 2.7	(0.8) ▲ 4.0	(▲ 0.4) ▲ 2.7	
製造工業生産能力指数 (2010年＝100)	[99.8] 98.9	[98.2] 98.0	98.2	98.2	98.0	98.0	97.2	97.0	
製造工業稼働率指数 (2010年＝100)	[95.7] 97.9	[97.8] 95.4	95.1	93.1	94.4	94.4	95.9	98.1	
第３次産業 活動指数	[0.1] 0.7	[1.4] 0.7	(0.0) 0.5	(0.3) 0.7	(0.2) ▲ 0.2	(0.2) 0.7	P (▲ 0.5) P 1.3	P (1.2) P 1.7	

（備考）１．鉱工業在庫の暦年は年末値、年度は年度末値、四半期は期末値。Pは速報値。
２．生産者製品在庫率の暦年、年度、四半期は期末値（季節調整値）。
３．製造工業稼働率の暦年、年度は平均値（原数値）、四半期は平均値（季節調整値）。

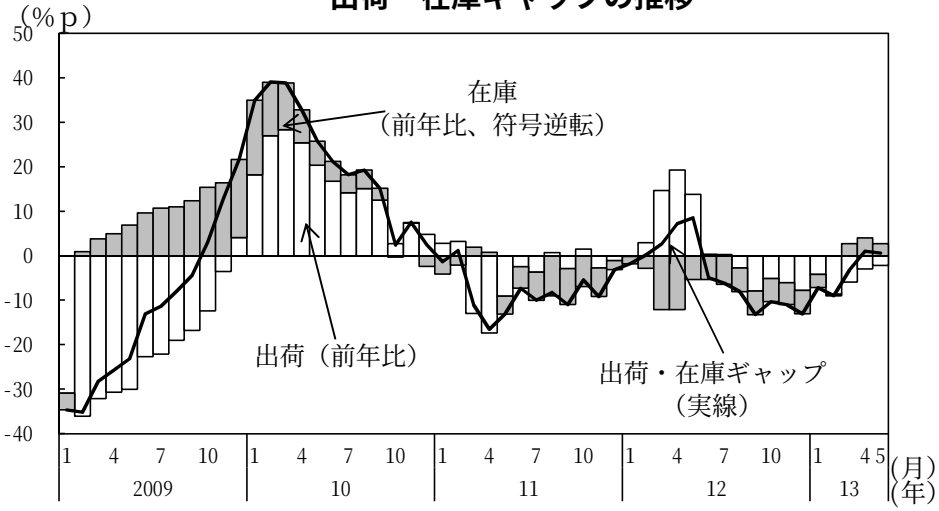
鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移



業種別の動向①

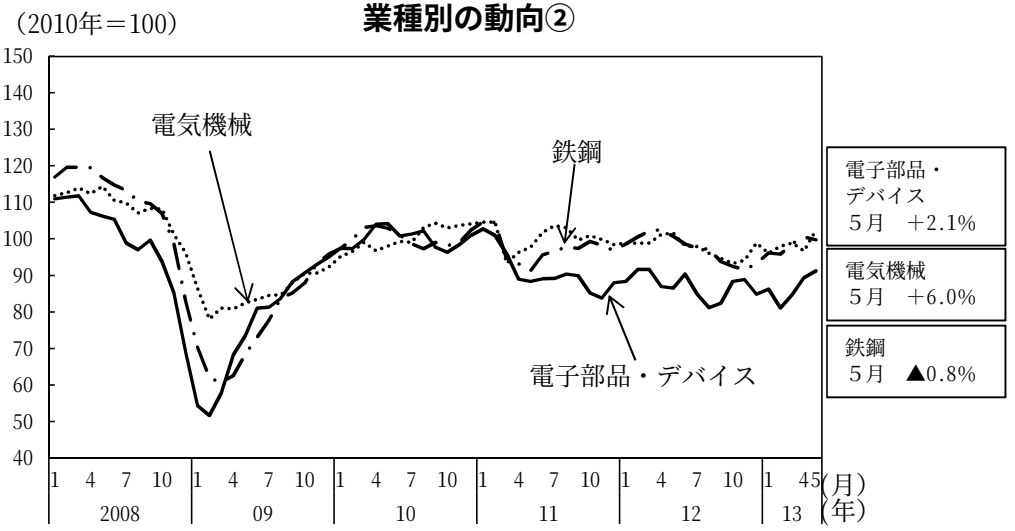


出荷・在庫ギャップの推移



（備考）上図：経済産業省「鉱工業指数」により作成。
季節調整指数（2010年＝100）。シャドー部は景気後退期を表す。
下図：経済産業省「鉱工業指数」により作成。
出荷・在庫ギャップ＝出荷（前年比）－在庫（前年比）

業種別の動向②



（備考）上図、下図：経済産業省「鉱工業指数」により作成。